

きらり

おばま 人

「ふるさと納税」を呼び掛けて！

福井県が提唱して、平成20年5月にスタートした「ふるさと納税制度」。昨年度は、38人から寄付（ふるさと納税）をいただき、「いいとこ小浜づくり活動支援事業」などに利用しています。

ふるさと納税は、ふるさとへの寄付です。里帰りした親戚や小浜市を愛する人に、ぜひふるさと納税の呼び掛けをお願いします。

※ふるさと納税は5,000円からで、1万円以上の寄付をいただいた方には、小浜の特産品を進呈します

■問い合わせ 企画課 ☎内線 342

ふるさと納税の手順



- ①ふるさと小浜寄付申請書を企画課へ提出する
※申請書は企画課窓口や市公式ホームページにあります
- ②企画課から送付する振込用紙で寄付金（ふるさと納税）を振り込む
※福井県のふるさと納税の振込用紙でも小浜市への寄付ができます
- ③振込後に送付する寄付金受領書を保管し、確定申告時に減税を受ける
※減税額には上限があります

若狭よさこいA/C



6月28日、合同練習の様子

イベントなどを盛り上げるのに欠かせないよさこい踊り。ヨサコイは子どもから大人まで、幅広い年代で踊られています。そして、市内にある七つのヨサコイチームを含む嶺南地域の十二チームが新団体「若狭よさこいA/C」を結成しました。

「ここ最近、地域に元気がないように感じるんです。盛り上がるには、ヨサコイなど、お祭りのなものが一番だと思っんですよ。それぞれのチームが一丸となれば、嶺南は活気付くんじやないか思い、この団体を立ち上げまし

ヨサコイで嶺南地域を盛り上げたい

た」と代表の嶋口彰さん（遠敷・42歳）は話します。

新団体の初舞台となるが七月十七日の「小浜祇園祭」。六月二十八日には合同練習が行われたそうです。

「三歳から五十歳代までのヨサコイ大好きな約二百六十人が所属しているんですが、合同練習には全チームから約百五十人が集まったんですよ。和気あいあいとした雰囲気でも振り付けなど入念に確認しました。合同練習は、踊り子同士の交流や、チームの士気を高めることができるので、毎年続けていきたいですね」と初舞台へ向けての準備は万全そうです。

「この団体は、出演依頼があれば、どのチームでも地域の垣根を超えて各地のイベントに協力していく予定です。踊り子にとっても踊る機会が増えますし、イベントに参加することで、盛り上げがばうれいすね。全チーム一丸となって地域の活性化に貢献していくつもりですし、将来はヨサコイの大イベントを開催してみたいですね」と嶋口さんは意欲的に答えてくれました。

この先、嶺南のイベントはヨサコイ旋風が吹き荒れるでしょう！

●あなたの周りの「きらり輝いている人」「生き生きしている人（グループも歓迎）」を紹介してください。
情報課 広報・広聴グループ ☎53・1111 内線373

短歌

いずみ短歌会

三郎は「瞼の母」の忠太郎
職振り捨てて母を看取りぬ
駅前町 津田 條栄

誰だろうはやも記述をはじむるか
筆圧響く試験会場
小浜清滝 田所 芳子

遂に喜寿を迎へしわれや父母を
越え得たるものは齢のみなり
多田 藤井喜美子

俳句

小浜市俳句作家協会

汗のシャツ脱ぐも着るにも人手借り
城内 杉田 興平

天井に触れて施餓鬼の幡が鳴る
中井 信谷 冬木

八月の二日施餓鬼と追ひ書きに
小松原 森田 昇

山柳

川柳かもめ教室

ビートルズ流れて話それていく
城内一丁目 江口 文代

当たり前前のが出来なくなる怖さ
雲浜二丁目 白石 恵子

盆膳に思い出煮つめ今年又
雲浜一丁目 猿橋久美子

広告

広告

広告

広告

広告

広告